

2017-2018 学年度、保護者への年次通知 – 英語学習者の進捗と配置について

**保護者各位**

アーバイン統一学区への入学・編入学において、お子さんは、英語学習者（EL 生徒）と判断されました。カリフォルニア州・連邦政府法により、アーバイン統一学区は、保護者にお子さんのテスト結果、プログラムへの配置、学習能力向上に役立つ更なる支援について、毎年通知するよう義務づけられています。

**指導設定とサポート**

2016-2017 学年度に、CELDT (The California English Language Development Test) と、その他のテスト結果により、お子さんの英語力のレベルを評価しました。これらのテスト結果は分析され、英語発達のため、適切なレベルでサポートを受けれるように指導設定されたクラスへの配置が決まりました。

2017 年の春に、3 年生から 8 年生と 11 年生の生徒を対象に CAASPP (the California Assessment of Student Performance and Progress) を実施しました。IUSD は、生徒の学業的進捗を測るため、このテスト結果を多くの基準の一つとして使用しています。

これらの評価の結果により、お子さんの教育ニーズを満たすために指導設定されたクラスに配置しました。すべての指導設定の目的は、生徒が納得のいく英語力のレベルに達し、学年レベルのコンテンツ分野と学習ターゲットを満たすためです。

あなたのお子さんは、現在、以下の通り設定されているクラスに参加しています。

- Newcomer/Structured English Immersion with substantial to moderate support (TK-12)  
相当程度から中程度のサポートが必要
- English Language Mainstream with moderate to light support (TK-12)  
中程度から小程度のサポートが必要
- Individualized Education Program (IEP)  
個別教育プログラム
- Alternative Education Program  
代替教育プログラム

EL プログラムと配置基準についての説明は、2 ページ目をご参照ください。

**年次進捗のモニタリング - ELPAC (English Language Proficiency Assessments of California)**

2018 年の 2 月に、生徒の英語力の進捗を測るため、ELPAC 要約テストが、CELDT (the California English Language Development Test) の代わりに実施されます。英語学習者となった生徒は、英語力において再分類（リクラシファイド）されるまで、毎年このテストを受けます。学校のスタッフが、テストの予定（場所・日時）について保護者に通知します。

**リクラシフィケーションの基準とタイムライン**

生徒のリクラシフィケーションへの適格性が決定され、ELPAC 要約テストが実施される前の 2018 年 1 月に、保護者に推薦状が送られます。

流暢な英語レベル（FEP）に再分類されるには、カリフォルニア州と IUSD によって確立された基準により決められた最低条件を満たさなければなりません。IUSD の再分類基準は以下の通りです。

1. 年一度の CELDT の結果で A) 総合評価が Early Advanced (4) 又は Advanced (5) であること。B) Listening, Speaking, Reading, Writing の 4 項目で Early Advanced (4) か Advanced (5) であること。
2. カリフォルニア州の標準そして/又は学校での評価による結果が英語（English Language Arts）において堪能レベルに達していること。
3. 担任が生徒の成績を評価し再分類への推奨に同意すること。
4. 親・保護者が再分類への推奨に同意すること。

Irvine Unified School District

英語学習者 (EL 生徒) のための指導設定

Transitional Kindergarten to Grade 12

指導 設定のタイプ	基準	内容
Structured English Immersion (SEI)	<ul style="list-style-type: none"> <li>CELDT Level 1 (Beginning)</li> <li>CELDT Level 2 (Early Intermediate)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語力が<b>伸び始め、拡張していくレベル</b>の生徒のために推薦される。</li> <li>統合されたプログラム設計により、英語、歴史・社会科学、数学、およびサイエンスのサポートを受けながら、学年レベルのコースワークへのアクセスを確実にする。</li> <li>コースワークは、CCSSC ELA (英語)、CCSS History/ Social Science (歴史・社会科学)、Math(数学)、そして次世代のサイエンスの標準に準拠している。適切に採用されている教材を使用している。</li> <li>コンテンツ分野全体において、スキル習得と学年レベルのコンテンツ習得のため、<b>相当程度から中程度</b>のサポートを受ける。</li> <li>明確に統合・設計された英語発達 (ELD) は、CA ELD 標準に基づいており、一日の授業を通して、全教科において提供される。</li> <li>種々の指導ストラテジーと特殊な資料を使用して、コンテンツ分野全体の概念理解、言語獲得、リテラシースキル発達を促進する。</li> <li>言語サービスが可能であれば、わからない内容や支持を明確にするため、第一言語のサポートが提供される。</li> <li>共通のテストなどは、生徒の言語習得を測り、モニターするだけでなく、継続する言語習熟に向け、生徒の移動に関する指導プランを知らせるためにも使われる。</li> </ul>
English Language Mainstream	<ul style="list-style-type: none"> <li>CELDT Level 3 (Intermediate)</li> <li>CELDT Level 4 (Early Advanced)</li> <li>CELDT Level 5 (Advanced)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この設定は、英語力が<b>拡張レベルとブリッジレベル</b>の生徒に勧められる。</li> <li>統合されたプログラム設計により、英語、歴史・社会科学、数学、およびサイエンスのサポートを受けながら、学年レベルのコースワークへのアクセスを確実にする。</li> <li>コースワークは、CCSSC ELA (英語)、CCSS History/ Social Science (歴史・社会科学)、Math(数学)、そして次世代のサイエンスの標準に準拠している。適切に採用されている教材を使用している。</li> <li>コンテンツ分野全体において、スキル発達と学年レベルのコンテンツ習得のため、<b>中程度から小程度</b>のサポートを受ける。</li> <li>戦略的な統合と設計による英語発達 (ELD) は、CA ELD 標準に基づいており、授業を通して、全教科において提供される。</li> <li>概念的理解、言語習熟、リテラシースキルの発達を促進を目的とした種々の指導ストラテジーと特別な教材を使用している。</li> <li>言語サービスが可能であれば、わからない内容や支持を明確にするため、第一言語のサポートが提供される。</li> </ul>
Individualized Education Program (個別教育プログラム)	N/A (採用されない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>この指導設定は、IEP プロセスを通して識別され、推薦される。</li> <li>IEP での明示において、統合と設計による英語発達 (ELD) の指導モード</li> <li>詳細情報については、現地校の担当者(case carrier)に問い合わせる。</li> </ul>
Alternative Education Program (代替教育プログラム)	All CELDT Levels (全レベル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用可能な CCSS に準拠した教材と、教師が作成した補足資料を使用しながら、第一言語、または目標言語の流暢さとリテラシースキルの発達に向けた日々の指導</li> <li>第一言語、または目標言語の指導は、数学、社会科学、およびサイエンスの標準に沿って行われる。</li> <li>CA ELD の標準に基づき、指定の統合と設計を含む教材で、英語発達 (ELD) の指導が行われる。</li> <li>コアの科目に関しては、英語による指導が、体系的に増えていっている。</li> </ul>

ALTERNATIVE PROGRAM\*\* 代替プログラム

保護者は、SEI(Structured English Immersion Program)またはメインストリームの英語プログラムのどちらか、お子さんにふさわしいプログラムへの配置について知らされる。また、代替プログラム (Education Code 310; 5CCR 11303) への要請に関する情報・機会についても知らされる。

卒業率=全生徒=96.3% : 英語学習者 (EL 生徒) =91.8%